

と取組について

浪速区は、区民との協働によるまちづくりを推進し、「子どもたちが生き活きと学び、健やかに育つとともに、区民が安全で安心して暮らせるまち」の実現をめざして様々な取組を進めています。

主な取組

1 安全で安心して暮らせるまちづくり

災害対策 1,357万円



自助・共助の必要性や家庭での備蓄の重要性の啓発を進めるとともに、災害時の避難所の備蓄や環境整備を進めます。また、地域の主体的な防災訓練等を支援するため、各地域の自主防災組織と連携してコロナ禍に即した避難所開設運営訓練の実施等を進めます。



▲防災訓練

2 だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり

地域における要援護者の見守りネットワークの強化 1,263万円



浪速区社会福祉協議会が設置する「見守り相談室」と連携して、誰もが安心して暮らせるよう、地域と行政が一体となって、地域で生活する要援護者が抱える課題の解決を図り、要援護者の安心した地域生活の実現、地域の組織化、福祉コミュニティの形成を図ります。



▲地域見守り会議

3 「子育て世代」を応援するまちづくり

困難な状況にある養育者・子どもへの支援の充実 1,555万円



助産師による家庭訪問を充実させることにより、養育者の育児不安の解消や乳児の健全な育成を図ります。

また、区内の小・中学校や幼稚園・保育施設と連携し、普段の子どもたちの様子から困りごとを抱える世帯を早期に発見し、支援につなげる体制を整備します。



▲子育てつどいの広場

4 子どもたちが健やかに育ち、学べるまちづくり

学習意欲向上の推進 144万円



小学校と連携し、児童が漢字検定を受験する機会を提供することで、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るとともに、語彙力や言葉を理解する力の育成を図ります。



5 人と人がつながり、住民が主体となって進めるまちづくり

地域コミュニティの活性化 883万円



住民間の相互交流や多文化共生をめざし、区民まつりや文化祭など、誰もが楽しめる事業を展開します。コロナ禍においても、区民が安心して参加し、人と人とのつながりが一層促進されるよう、工夫をしながら進めます。

ON祭はこちら▶



運営方針はこちら▲